

(お知らせ)

令和3年12月21日
航空幕僚監部

築城基地所属F-2戦闘機の部品等落下に関する事故調査結果について

標記について、下記のとおりお知らせします。

記

1 事故の概要等

(1) 日時

令和3年10月10日（日）12時50分頃

(2) 場所

福岡県朝倉市東部の山間部（推定）の上空（築城基地の南西方向約35km付近）

(3) 機種及び機数（機番）

F-2戦闘機×1機（機番：53-8533）

(4) 概要

当該機は、対領空侵犯措置任務のため飛行中、キャノピーの落下を確認したため、緊急状態を宣言し、築城基地に着陸した。

2 事故の原因

(1) 主因

操縦者がキャノピーのロック状態を確認せず、キャノピーが完全にロックされていない状態で離陸したため、機体の上昇に伴い、与圧されていくコックピット内と外気の圧力差が徐々に増大し、キャノピーが事故機から分離・落下した。

(2) 副因

事故機操縦者に対する、実際の任務時により近い環境による訓練が不足した。

3 事故再発防止策

(1) 基本手順の重要性を再認識させる教育の実施

(2) 実際の任務時により近い環境による訓練の実施

【お問合せ先】

航空幕僚監部総務部総務課広報室

連絡先：03-3268-3111（内線：60097）

FAX：03-5362-4816